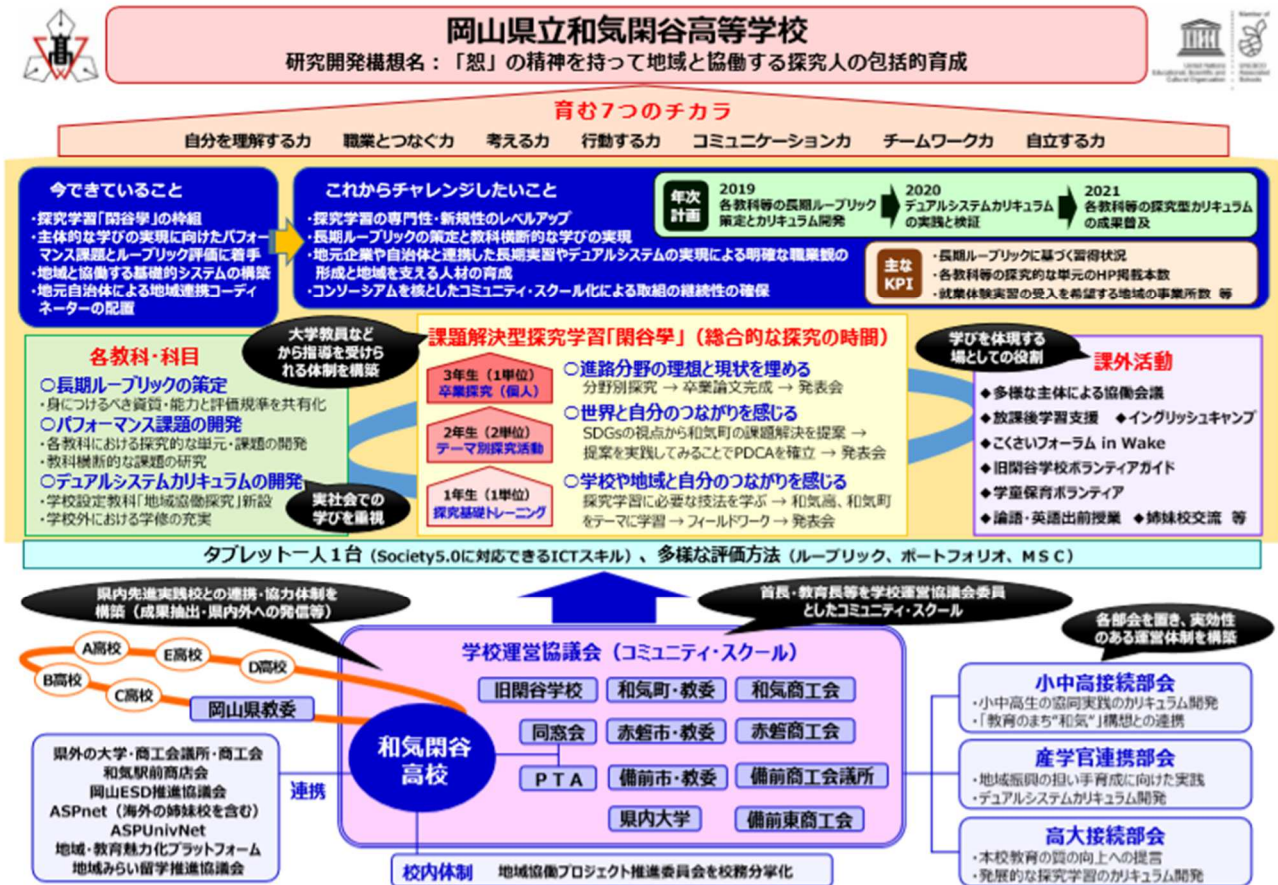


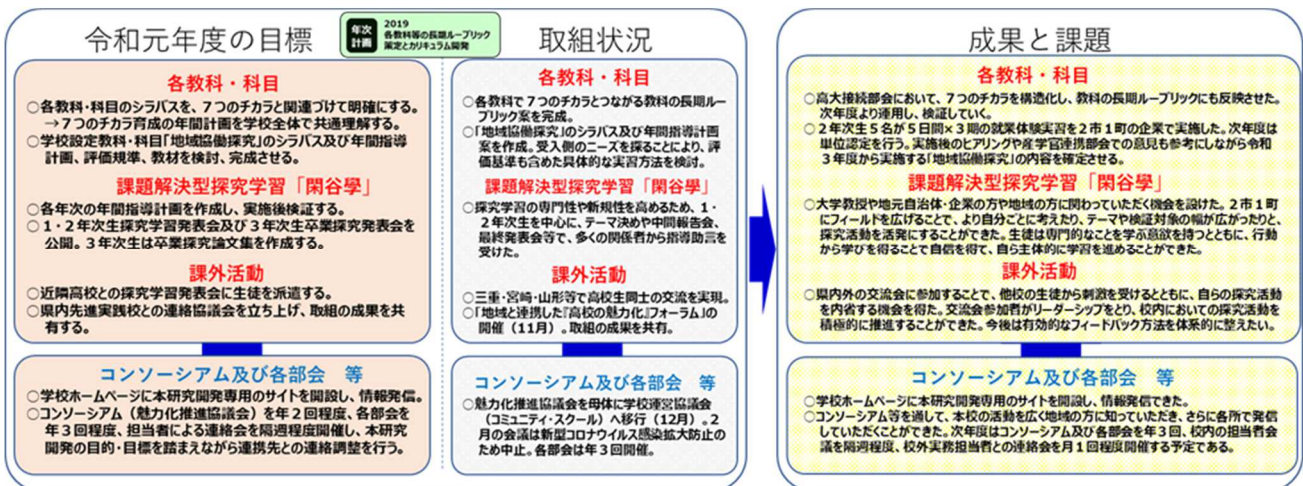
テーマ：地域と協働する探究人を目指して

～教科・科目、探究学習「閑谷学」、課外活動を通して育む力～

1. 文部科学省事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」概念図



2. 令和元年度の目標と取組、成果と課題



3. 令和元年度「閑谷學」の取組

	1年次 学問	2年次 世界	3年次 これからの世の中
1学期	学校への適応 仲間づくり	閑谷研修(進路学習) 探究学習 イントロダクション SDGs・地域課題理解、テーマ決定 ＜就職希望者＞インターンシップ準備	卒業個人研究 イントロダクション テーマ決め作文 分野別探究 ※自己理解・社会理解 ※発表機会・内省機会
	探究基礎編 イントロダクション 探究手法の習得1[発想法、インタ ビュー手法、アンケート手法] 地域課題理解	中間報告	
夏休み	ゼミ分け作文	リサーチ、＜就職希望者＞インターンシップ	(就職補講等)
2学期	権楓祭		
	テーマ決定 探究手法の習得2[文献調査の方法、 プレゼン手法(keynote、ポスター)] ゼミ内発表	修学旅行探究 ＜韓国＞姉妹校訪問 ＜関東＞企業・大学訪問	分野別探究 調査・分析・実践 論文集作成 発表準備、リハーサル
		修学旅行報告会	
	中間報告	探究学習 調査・分析・実践	卒業探究発表会
3学期	発表準備、リハーサル	発表準備、リハーサル	社会人になる準備 年金、着こなし講座 など
	探究学習発表会		
	ふりかえり	ふりかえり	ふりかえり

〔1年次1学期〕学校への適応、仲間づくり

- 4/11 本校の源流を学ぶ（講師：和気町社会教育課 森元純一氏）
- 4/18～4/19 集団宿泊研修「閑谷合宿」（岡山県青少年教育センター閑谷学校）
- 5/17 探究イントロダクション
- 5/31 第1回閑谷學探究学習基礎編「発想法」（講師：岡山商科大学経営学部教授 三好宏氏）
- 6/14 第2回閑谷學探究学習基礎編「アンケート手法」（講師：同上）
- 6/28 第3回閑谷學探究学習基礎編「インタビュー手法」（講師：同上）
- 7/9 地域課題理解「和気町の課題」（和気町役場まち経営課 日笠将吾氏）

〔1年次2学期〕グループ探究（5つのゼミで活動）

10/18 テーマ設定のためのフィールドワーク

- ①環境・防災ゼミ…和気町役場、国際交流協会、津瀬地区住民等にインタビュー
- ②人口・少子化・婚活ゼミ…エンターワケで、和気に暮らす多様な世代の方（10名）との対話
- ③空き家・移住ゼミ…県外から移住し和気町の古民家に家族4人で住まわれている梅村竜矢氏（本校カリキュラム開発等専門家）邸へ伺い、家の内外を見学
- ④商店街ゼミ…商店街の現状を把握するために和気駅付近の探索、株式会社徳永こいのぼり訪問

10月下旬～ 探究プラン立て、探究準備、探究プラン発表

①環境・防災ゼミ テーマ	
1班	環境・農業・・・ビオトープで棚田の再生
2班	環境・農業・・・鳥獣被害から農地を守ろう
3班	防災・・・外国人の避難をどうするか
4班	防災・・・自主防災組織をつくろう
5班	交通・・・地域の足をどう確保するか
6班	農業・・・商品開発で和気の農業を守ろう
②人口・少子化・婚活ゼミ テーマ	
1班	和気町の全ての人が住みやすい町になるために
2班	和気の良いところを発信しよう！
3班	和気町体育館で和気高主催のミニ運動会を開き、人々の交流を増やす。
4班	人口の減少を防ぎ、いろんな所から人を呼びかけて来てもらう（住んでもらう）
5班	少子高齢化の改善のために
③空き家・移住ゼミ テーマ	
1班	古民家の魅力と和気町の暮らしについて（登録有形文化財について）
2班	古民家や田舎の素晴らしさについて
3班	空き家の使い道（古民家カフェ）
4班	空き家対策の実態
5班	空き家にファーストフード店を作る
6班	日本と韓国の古民家の違い
④商店街ゼミ テーマ	
1班	R o a d a r t
2班	空き家を使ったお化け屋敷
3班	恋クロアイス
4班	和気町の魅力が詰まったアイスをつくろう！
5班	子どもたちの鯉のぼりをかざろう
⑤観光ゼミ テーマ	
1班	外国人にもわかりやすい観光モデルコース作り（インターネット・パンフでの発信）
2班	外国人の人向けの神社のお参りと手の洗い方を解説する動画作成
3班	外国人向けのグルメパンフレット作成（外国人観光客への対応）
4班	パンフレットボックスのポップ作成（目にとまるパンフレットを手にとってもらうため）
5班	和気町のインスタ映えスポットの紹介（スポットを自分たちで発信する）
6班	和気町の良さをアピールしたポスター作り（県外・県内向け）

11月 ⑤観光ゼミ…テーマごとにフィールドワーク

「和気町のインスタ映えスポットの紹介」、「外国人にもわかりやすい観光モデルコース作り」
…愛宕山（和気町）登山ルートの確認と写真撮影

「外国人向けの神社のお参りと手の洗い方を解説する動画作成」…和気神社で参拝方法動画撮影

「外国人向けのグルメパンフレット作成」…和気町内飲食店店長にインタビュー

「パンフレットボックスのポップの作成」…和気駅と和気町観光協会のパンフレット置き場の観察

「和気町の良さをアピールしたポスター作り」…和気神社職員にインタビュー

12月～ 探究まとめ（発表準備）

12/19 「3年次生卒業探究発表会」参加

2/1 「1・2年次生探究学習発表会」発表

第Ⅰ部：1・2年次生合同のプレゼンテーション

1年次生（5ゼミ、28グループ）、2年次生（5ゼミ、27グループ）

第Ⅱ部：投票で決定した各教室の代表グループ（10グループ）によるステージ発表

全体講師：東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科学科長（准教授）岡崎エミ氏

助言者：探究学舎講師（元和気町地域おこし協力隊・和気高支援職員）向敦史氏

NPO法人「青春基地」代表理事 石黒和己氏

一般財団法人「地域・教育魅力化プラットフォーム」 本宮理恵氏

一般財団法人「地域・教育魅力化プラットフォーム」 奥田麻依子氏

岡山大学地域総合研究センター副センター長（教授） 前田芳男氏

岡山大学地域総合研究センター実践型教育プランナー 吉川幸氏

岡山大学全学教育・学生支援機構准教授 中山芳一氏

山陽学園大学地域マネジメント学部教授 松尾純廣氏

山陽学園大学地域マネジメント学部講師 建井順子氏

岡山県自然保護センター主幹 阪田睦子氏

4. 本校主催「多様な主体による協働会議」（平成26年度～年1回実施）

日時：令和2年2月1日（土）13：30～16：00 会場：本校体育館

内容：①趣旨説明&アイスブレイク

②ピッチプレゼンテーション（やりたいこと、話し合いたいことを発表）

③グループトーク（気になるグループに参加して話し合い）

④発表&講評（各グループの話し合い内容を発表し、専門家が講評）

参加者：本校生徒、地域住民、その他、関心のある方々

内訳：本校生徒60人（1年次生31人、2年次生29人）

生徒以外87人（市民34人、話題提供14人、講師10人、視察29人）

企画意図：大きなアイデアを描くのではなく、高校生や地域住民が持つ具体的な構想を、一步前に進めるための場。「やりたいことがある」「知ってほしいことがある」「相談したい」「仲間がほしい」といった話題を持った人（グループ）がお題を発表した後、参加者がそれぞれ興味関心を持つグループに分かれて車座になって話をした。高校生は「閑谷學」での探究を前に進め実践につなげるために、地域でさまざまな活動をしている大人たちは仲間を見つけたりヒントを得たりするために、意欲的な人々との出会いによって、地域の魅力や可能性を感じる生徒と地域住民が増えることも企図した。高校がこのような場を設けることの意義は、生徒の成長のためということももちろんあるが、高校が地域づくりの主体となることにもある。高校と地域は「協力してあげる」「協力してもらおう」という関係になりがちだが、その関係性を超えて地域づくりのための場を高校が主催することで、高校と地域の協働の新しい形を模索した。

5. 令和2年度「閑谷學」の取組

〔2年次1学期〕2市1町（備前市・赤磐市・和気町）をフィールドにしたグループ探究

分野	テーマ	講師
健康	①小学生の心身の健康をUPしよう	3年生
	②居心地の良い和気校を作ろう	事務室
	③新型コロナの感染拡大を防ぐ活動をしよう	教員
	④旧和気小学校での小中学生お泊まり会「何にもしない合宿」のスタッフになろう	3年生
教育	①小中学生に論語を広めよう	3年生
	②小学生のオーストラリアとの交流授業を考え実施する	吉岡香織氏（和気町地域おこし協力隊）
	③和気町の公営塾のオンラインコンテンツ開発	久保田暁子氏（和気町地域おこし協力隊）
	④和気閑谷高校の魅力を発信しよう	教頭
歴史文化	①大國家の保存修復作業に参加しながら10年後の使い方を考える	森元純一氏（和気町社会教育課） 有正典之氏（建築士）
	②ものづくりフェスタでエンターワケのプロジェクトマップを作る	高原潤子氏（ものづくりフェスタ実行委員会） 定國誠也氏（ものづくりフェスタ実行委員会）
	③小中学生と新しい赤磐の伝統（書道&神楽パフォーマンス）を作る	
	④こくさいフォーラムinWAKEの企画実施	中村哲也氏（コーディネーター）
ビジネス	①梅村さんちをカフェにしよう！	梅村竜矢氏（本校カリキュラム開発等専門家）
	②備前焼を盛り上げる方法を考え、実施する	森敏彰氏（備前焼作家）
	③酒造メーカーを取材して、全国のおマチストに赤磐の酒をPRする	高木大地氏（赤磐市地域おこし協力隊）
	④岡山のお茶を岡山で消費する～引両紋の社長と話そう	青山雅史氏（株式会社引両紋代表取締役）
自然科学	①校内のビオトープを完成させる	教員
	②自然保護センターに地元の中高生が来たくイベントや展示を考える	阪田睦子氏（岡山県自然保護センター）
	③和気町の自然を調査し、発信しよう	

7/17 「1・2年次生引継会」の実施

今年度から学年を超えて探究学習の連続性を持たせるために、2年次生の活動を1年次生へ伝え、可能なテーマは1年次生が2学期からの探究活動で2年次生の取組を継続・発展させていくことを志向した。2年次生は、新型コロナウイルスの影響などの制限があるなかで、「誰かのためになる」活動を模索・実践した経緯・成果をまとめ、1年次生に伝える。1年次生は2学期以降の取組についてのイメージを持ち、自己の興味・関心に気づくことを目的とした。

〔1年次2学期〕2市1町（備前市・赤磐市・和気町）をフィールドにしたグループ探究

分野	テーマ	講師
健康	①小学生の心身の健康をUPしよう。	大森氏（ビッグモリス）
	②患者と高齢者・障がい者が幸せに暮らすために、今自分たちができること。	
	③スポーツdeサイエンスらぼII～気軽に誰でもスポーツ(運動)ができるコミュニティを立ち上げよう！	山本葵氏（和気町地域おこし協力隊）
教育	①小中学生に論語を広めよう！	香山真一氏（閑谷学校青少年センター長）
	②和気閑谷高校の魅力を発信しよう(全国募集に生かそう)	教頭
	③国際交流のプロデューサーになろう！	吉岡香織氏（和気町地域おこし協力隊）
歴史文化	①大國家の保存修復作業に参加しながら活用方法を考える。	森元純一氏（和気町社会教育課） 有正典之氏（建築士）
	②プロジェクトマップを使って、何が出来るか考える。	江森真矢子氏（本校カリキュラム開発等専門家）
	③Riverside art プロジェクト～川沿いにあたたかな居場所づくりを。	松徳亜花音氏（和気町地域おこし協力隊）
ビジネス	①備前焼を盛り上げる方法を考え、実施する。	森敏彰氏（備前焼作家）
	②梅村さんちをカフェにしよう！	梅村竜矢氏（本校カリキュラム開発等専門家）
	③具体的な観光プランを考えて、実践しよう。	下鳥誠氏（ワケジェニック）
自然科学	①校内のビオトープを発展させ、活用しよう。	阪田睦子氏（岡山県自然保護センター）
	②自然保護センターに地元の中高生を呼ぼう！	阪田睦子氏（岡山県自然保護センター）
	③使われていない放棄地を何かに生かそう！	

